

【プロフィール】

河野 太郎 (デジタル大臣・衆議院議員)

1985年 米国ジョージタウン大学卒業。

1996年 第41回衆議院議員総選挙にて初当選、以来連続当選 (9期)。

国家公安委員会委員長、外務大臣、防衛大臣、行政改革担当大臣、ワクチン接種担当大臣等を歴任し、2022年8月、デジタル大臣、国家公務員制度担当、内閣府特命担当大臣 (デジタル改革、消費者及び食品安全) に就任 (第2次岸田改造内閣)。2023年9月、デジタル大臣、デジタル行財政改革担当、デジタル田園都市国家構想担当、行政改革担当、国家公務員制度担当、内閣府特命担当大臣 (規制改革) に就任 (第2次岸田第2次改造内閣)。

デジタル化の
めく切りのある社会を維持していく
デジタル化のめく切りはAIとデジタル

デジタル

デジタルで病院

デジタル、知能、クラウド

1741自治体のデジタルの普及を促す
2026年

デジタルの普及

2026, 3年以内 標準化していく

デジタル化

デジタル化の課題

デジタル化

デジタル化

デジタル化

自治体

デジタルは国が促す方向で
共通のデジタル
全国 標準化 (統一)

デジタル化

デジタル化の課題
デジタル化

デジタル化の課題 9割の自治体でデジタル化が完了
デジタル化の課題 9割の自治体でデジタル化が完了

地方自治体と防災DX
-令和6年能登半島地震を踏まえ-

白田 裕一郎

(国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長)

国立研究開発法人防災科学技術研究所

総合防災情報センター長

臼田 裕一郎

1973年長野県生まれ。慶應義塾大学環境情報学部卒、同大学院政策・メディア研究科修了。博士（政策・メディア）。地球観測衛星受信システム開発やリスクコミュニケーション支援システム開発を経て、2006年防災科学技術研究所入所。現職および防災情報研究部門長として防災情報に関する研究開発に従事するとともに、筑波大学教授（協働大学院）としての人材育成、AI防災協議会理事長・防災DX官民共創協議会理事長としての防災DXの推進に努める。

IT化とDX
2019年23年

① 災害の凶悪化、大規模化、複雑化

防災DX - bosai X View

防災DXの展望

- ① デジタルにも防災の要素の「キ」＝「平時の備え」
- ② 変革を促すにはITが「鬼」の始めよ
- ③ 連携・共創

「都市の正義」が地方を壊す～地域からの少子化論へ

東京都立大学 山下祐介

はじめに

人口戦略会議「人口ビジョン2100」と「令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート」：その価値と精神について

1. 地方消滅から地方創生へ～10年目の検証

日本創成会議から人口戦略会議へ（人口減少ショックにどう向き合うか？）

人口減少はなぜおきるのか？——東京一極集中と止まらない少子化

① 選択と集中——都市の正義、その1

② 人口よりも財政・経済を優先する——都市の正義、その2

「自分は排除の対象にならない」——都市の正義、その3

政府の「地方創生」と少子化対策

競争と淘汰——都市の正義、その4

経済要因説と都市化要因説

10年後の状況——「少子化を止める」になぜならないか～こじれる人口政策

2000年代改革と第3次ベビーブームの不在

2. 過剰都市化がもたらす少子化と病理

東京一極集中とは何か？～本来、国策とはバランスなのだが・・・

西日本と東日本 東北に仕事がない、のではない。仕事間のバランスが崩れている

生活様式としての生活の社会化（行政・市場への依存）

郊外都市の秘密～東京一極集中の一番の被害者は誰か？

人口減少は問題か？

※経済的要因で過疎問題は始まったが、問題は過疎ではなく少子化。その解は、過剰都市化・過剰経済化であって、東京一極集中をとめること：東京一極集中は首都への権力集中だから、地方分権がその答えで間違いない

真の問題は、「地方分権は無理だ」「中央集権こそが危難を救う」と信じ込んでいること

まずは地方創生の検証が必要：地域版人口ビジョンと総合戦略のゆくえ

PDCA サイクルはどこに行った？ 誰がやるのか？

3. 国家不均衡の正体～循環を取り戻す

超寿命化・超高齢化と人口過剰（とその急激な移動）による、世代間／地域間／職業間／

男女間バランスの再定置という課題（→ある側に偏向してバランスがとれなくなった）

戦前生まれと戦後生まれ。限界集落は消えたか？（団塊世代が帰っている、地方移住という循環・回帰）

耕作放棄地という場所：食糧自給率、燃料自給率

社会に必要な仕事（守る、支える）、対外的に社会を維持するための仕事（戦う、獲る）

グローバリズムとナショナリズム、それを支えるローカリズム：グローバリズムとそれに抗するナショナリズムの攻勢（戦いの最前線としての首都）：戦争アナロジー

選挙という目に見える戦い：多数決による決定、マイノリティの排除、中央集権化（全体主義化）

ところが、そのリアリティはどこにあるか？ Society5.0 の不思議：コロナ禍対策、東京オリンピック、大阪万博も？

止まらない人口減少について、落ち着いてしっかり考える～その場はどこにあるか？

4. 日本再生への手がかりはどこに

地方創生の問題点 価値の問題：選択と集中か、多様性の共生か

上からの政策、下からの政策

出生率 1.4 から 2 に転換するの必要なこと

家族、地域、自治体の協働を取り戻す

グローバリズム、過剰都市化、バーチャル社会

バランス・循環・対流 VS. 集中・コンパクト化・ヒエラルキー

インフラとその利用（誰が何に？） 交通・学校・経済・ITC

悪循環が好循環に変わっていくとき、主体は誰か？

おわりに

山下祐介（やました・ゆうすけ） 東京都立大学教授 yamay@tmu.ac.jp

『限界集落の真実 過疎の村は消えるか？』ちくま新書、2012年

『東北発の震災論 周辺から広域システムを考える』ちくま新書、2013年

『地方消滅の罨 増田レポートと人口減少社会の正体』ちくま新書、2014年

『「都市の正義」が地方を壊す 地方創生の隘路を抜けて』PHP新書、2018年

『地域学をはじめよう』岩波ジュニア新書、2020年

『地域学入門』ちくま新書、2021年

『社会は生きている』『現代思想』青土社、2022年7月号～（連載中）

『被災者発の復興論』岩波書店、2024年、共著

『人間なき復興 原発避難と国民の「不理解」をめぐって』明石書店、2013年（筑摩文庫2016年）共著

『地方創生の正体 なぜ地域政策は失敗するのか』ちくま新書、2015年、共著

スクイットあり